

JICE 研究開発助成制度

一般財団法人国土技術研究センター

助成制度の概要

目的

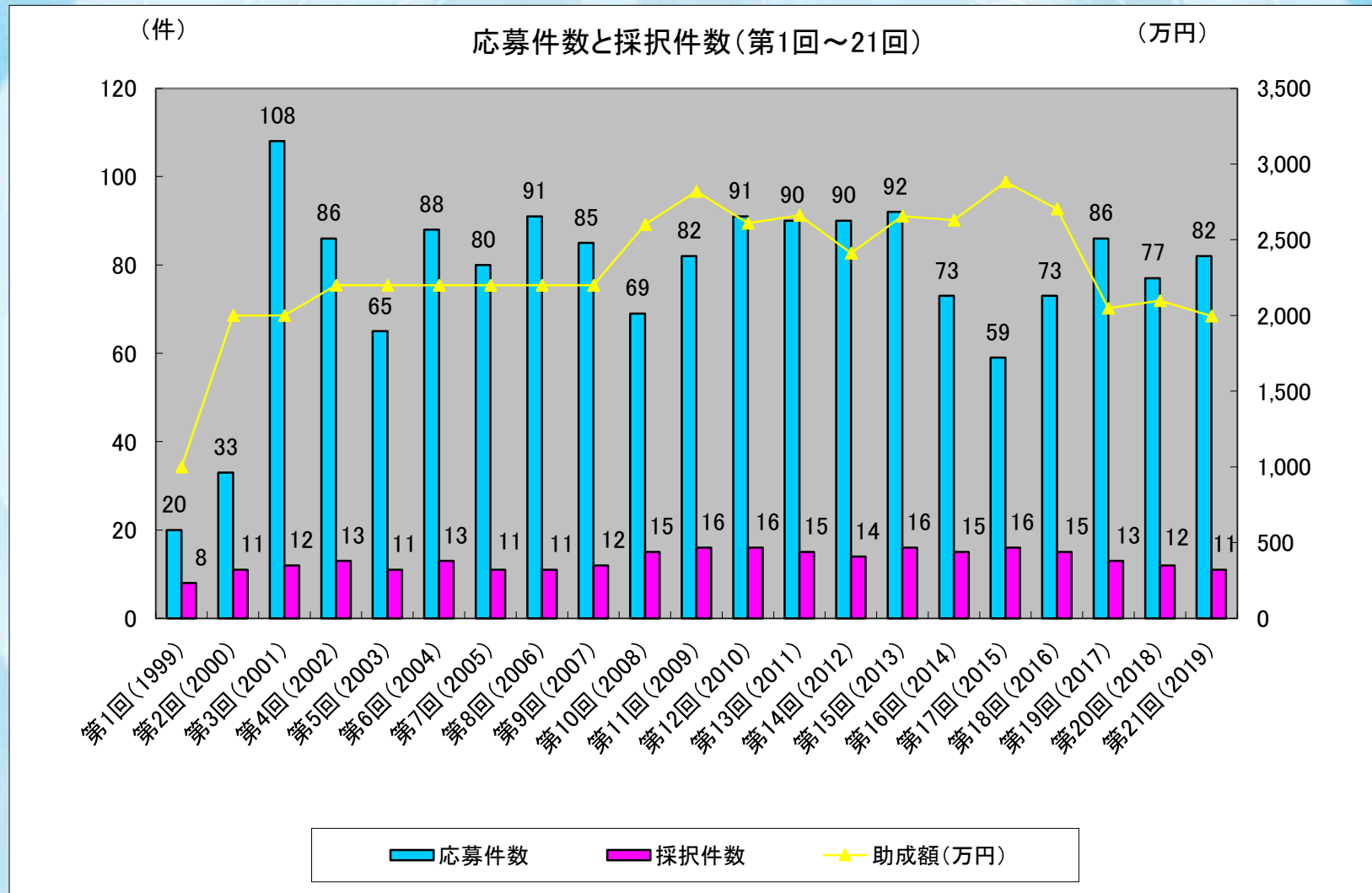
住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に寄与すること。

**○平成11年度に創設し、本年度で22回目
昨年度までの助成対象研究数は、延べ276件**

○助成対象者は原則として大学等の研究者

助成実績

令和元年(2019年)度までの21年間で延べ276件に助成



研究助成の全体スケジュール



★研究成果報告会★

- ・助成期間終了後に研究成果報告会を開催
- ・土木学会 継続教育(CPD)プログラム認定を受け、外部からも聴講者を募集
- ・毎回100名程度の方々が聴講(H30:約100名、R1:約100名)

平成30年度(第20回)研究開発助成課題

応用 研究 課題	①安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの。 (地誌等に残る地域特有の自然災害の伝承や記録など、防災、減災を向上するための研究を含む)	4
	②人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。	0
	③心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。	0
重点 研究 課題	④水災害リスクと防災・減災に関する研究	2
	⑤河川堤防の信頼性評価に関する研究	1
	⑥社会潮流の変化に対応した幹線道路ネットワークのあり方に関する研究	1
	⑦人中心や賑わい創出等を目的とした道路空間再構築に関する研究	1
	⑧人口減少社会における持続可能な都市の構築に関する研究	1
	⑨今後のあるべき建設生産システムに関する研究	1
	⑩社会資本の戦略的な維持管理に関する研究	1

対象件数
(計12件)

令和元年度(第21回)研究開発助成課題

応用 研究 課題	①安全に安心して暮らせる国土の実現に寄与するもの。	3	28
	②人・もの・情報が効率的に通いあえる国土の実現に寄与するもの。	0	2
	③心豊かに暮らせる快適で美しい国土の実現に寄与するもの。	0	6
重点 研究 課題	④水災害リスクと防災・減災に関する研究	2	9
	⑤河川堤防の信頼性評価に関する研究	1	4
	⑥社会潮流の変化に対応した幹線道路ネットワークのあり方に関する研究	1	4
	⑦人中心や賑わい創出等を目的とした道路空間再構築に関する研究	0	4
	⑧人口減少社会における持続可能な都市の構築に関する研究	1	7
	⑨今後のあるべき建設生産システムに関する研究	1	7
	⑩社会資本の戦略的な維持管理に関する研究	2	11

助成対象件数
(計11件)

応募件数
(計82件)

第22回(2020年度)募集の予定

公募期間

2020年8月上旬～
10月下旬

※現在準備中

助成期間

2020年度
(2021年4月1日～
2022年3月31日)

研究開発助成

・ 研究開発助成制度について ・ 最新の助成研究 ・ 助成実績と成果報告

研究開発助成

研究開発助成制度は、住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に資することを目的として、平成11年度に創設いたしました。

はじめに

「研究開発助成制度」は、住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に資することを目的として、平成11年度に創設されました。
当制度は、研究開発助成実施要綱に基づき実施しております。当制度の目的をご理解いただき、助成金が有効に活用されたいよう、関係のご機関とご協力をお願いいたします。

お知らせ

2019年度(第21回)研究開発助成の助成対象が決定しました

第21回研究開発助成の助成対象が決定いたしました。

→ 第21回研究開発助成一覧はこちらをご覧ください

2019年度(第21回)研究開発助成について

公募期間および助成対象要綱

公募期間：2019年度(第21回)の公募は終了しました。

助成期間：2020年4月1日(水)～2021年3月31日(木)

<http://www.jice.or.jp/review/assurances>